

# 取付説明書

お客様・工事店様用

	Arc FACE Home(アークフェイスホーム) (電池式顔認証スマートロック)
品番	<b>AFH</b>

## 安全のため必ずお守りください

安全のために必ずこの取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

注意

- 錠本体やハンドル、およびシリンダーは現在設置されているものを使用します。動作に異常、および各部破損や損傷がないかを確認してから作業を行ってください。
- 既存錠本体の鍵を必ず準備してから作業を行ってください。
- 作業を行うときは、滑り止め付き手袋を着用してください。金具で手を切るなどがするおそれがあります。
- ネジはこの取付説明書に従い、正しく取り付けてください。誤って取り付けると故障の原因になります。
- 取り外した部品は元の状態に戻すときや、応急対応時に必要な場合があります。大切に保管してください。
- 床に落とす、叩くなどして強い衝撃を与えたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 扉の状態や形状、扉の加工状態により、追加で取付加工が必要な場合があります。
- 取り付けの際に、インパクトドライバーを使用しないでください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。
- 突起物(ノブ、ハンドル、シリンダー、サムターンなど)を足場や踏み台にしないでください。製品機能が低下するだけでなく、滑ってけがをするおそれがあります。
- 扉が作業中に閉まらないよう、解錠状態で半分ほど開き、必ず固定した状態で作業を行ってください。突然扉が閉って開かなくなったり、手や足を挟んだりしてけがをするおそれがあります。
- 本製品を取り付ける前に、ドアクローザー(ドアチェック)を必ず取り付けてください。突風などで突然扉が閉まった衝撃で故障したり、手や足を挟んだりしてけがをするおそれがあります。
- すべての部品を取り付けたら、必ず正常に作動するかを確認してください。
- 本体のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどを使用すると、変形や変色、ひび割れなどにつながるおそれがあります。

本製品の故障やお問い合わせについては、当社ホームページから特設サイトをご確認のうえ、ご相談ください。

株式会社ゴール  SINCE 1914

〒532-0032  
 大阪市淀川区三津屋北 2-16-6  
 TEL (06) 6309-1271 (代)

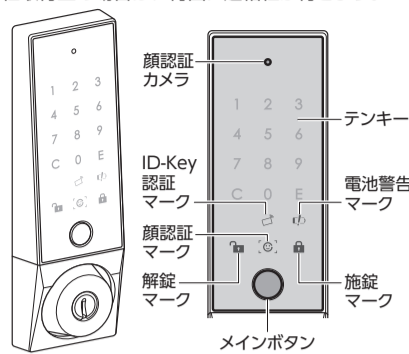
<https://www.goal-lock.com>



## 各部の名称

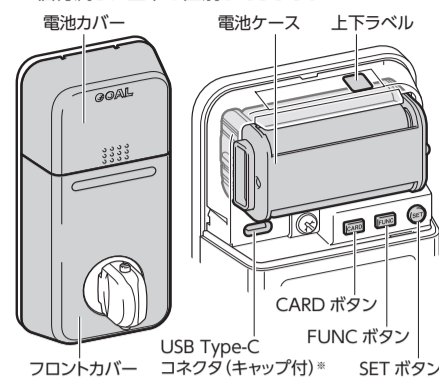
### リーダーユニット

- 両面テープ取付型の場合は、背面に両面テープが付きます。
- 柱取付型の場合は、背面に連結柱が付きます。



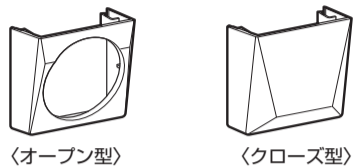
### サムターンユニット

- 2ロックセット(オプション)にはサムターンユニットが2個付属し、上下の区別があります。



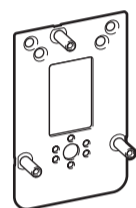
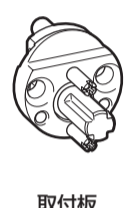
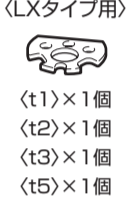
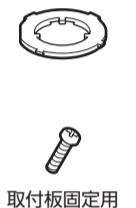

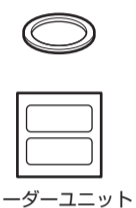
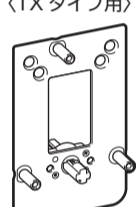
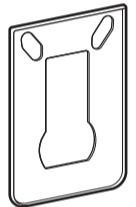
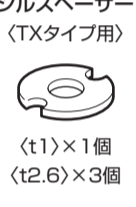
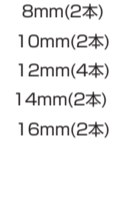

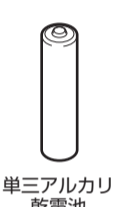
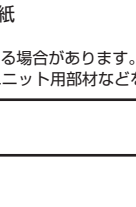
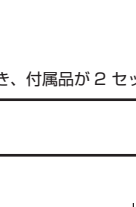
※ USB Type-C コネクタは、メンテナンスの際に使用します。故障の原因となりますのでメンテナンス用機器以外の接続は絶対に行わないでください。

### シリンダーカバー



- オープン型とクローズ型の2種から選択し取り付けてください。
- ※ TXタイプのシリンダーはクローズ型を取り付けることができません。

### ■ 付属品\*

<b>取付板</b> 〈LXタイプ用〉 	<b>サムジクユニット</b> 〈LXタイプ用〉 	<b>扉厚調整用ライナー</b> 〈LXタイプ用〉 〈t1〉×1個 〈t2〉×1個 〈t3〉×1個 〈t5〉×1個 	<b>アダプタA</b> 〈LXタイプ用〉 	<b>アダプタB</b> 〈LXタイプ用〉 	<b>ゴムスペーサー</b> (3個)〈LXタイプ用〉 
<b>取付板</b> 〈TXタイプ用〉 	<b>取付板パッキン</b> 〈TXタイプ用〉 	<b>シルスペーサー</b> 〈TXタイプ用〉 〈t1〉×1個 〈t2.6〉×3個 	取付板固定用 M4 8mm(2本) 10mm(2本) 12mm(4本) 14mm(2本) 16mm(2本) 	ネジ類など 	リーダーユニット位置決めラベル 
			サムターンユニット本体固定用 M3.5 10mm(3本) 	単三アルカリ乾電池 (4本) 	

- 取付説明書(本紙および別紙)、クイックガイド、AFH取付型紙
- ※ 1: 名称の「サム」はサムターン、「シル」はシリンダーを示します。
- ※ 2: 取付タイプのセットによっては付属されていない物や数量が異なる場合があります。
- ※ 3: 2ロックセット(オプション)にはシルスペーサーやリーダーユニット用部品などを除き、付属品が2セットずつ付属します。

## 取り付け方法

### 1. リーダーユニットの位置を決める(両面テープ取付型のみ)

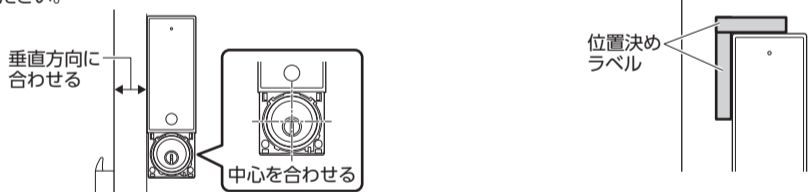
既存のシリンダーとサムターンを取り外す前に、リーダーユニットを取り付ける位置決めを行います。

#### 1. 水平、垂直方向を合わせる

- シリンダーの中心とリーダーユニットの穴の中心を合わせます。
- リーダーユニットを扉の端、垂直方向に合わせます。
- 合わせたら、水平方向も合っていることを確認してください。

#### 2. 位置決めラベルを貼り付ける

- 水平、垂直を合わせながら位置決めラベルを貼り付けます。
- ラベルを貼り付けたら、シリンダーとリーダーユニットを取り外してください。



### 2. 取り付けを行う前に

本製品を取り付ける前に、既存のシリンダーとサムターンを取り外します。詳細は別紙の「**既存部品の取り外し**」をご参照ください。既設扉を加工して取り付けの場合は、別紙の「**既設扉を加工して取り付けの場合**」をご参照ください。

### 3. リーダーユニットの取り付け

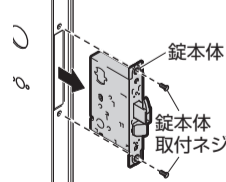
取り付け方法は、両面テープ取付型、柱取付型、挟み込み取付型で異なります。

- 作業を行う前に、扉ごとに合わせてレバーハンドルを取り外してください。

#### ▼ 配線用の穴を設けられない場合のみ

##### 錠本体を取り外す

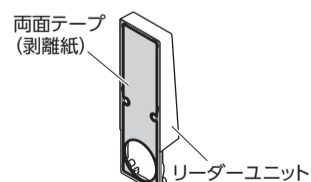
- 錠本体取付ネジを外します。



#### ▼ 両面テープ取付型のみ

リーダーユニット裏面の剥離紙を剥がす

- リーダーユニット裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

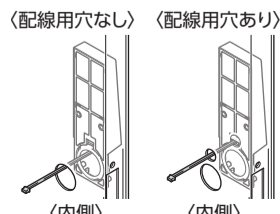


#### 1. シリンダーの穴に配線を通す

- リーダーユニットの配線を下図の通りに通します。

△ 配線を無理やり引っ張ったり、切断や損傷したりしないようご注意ください。

△ TXタイプで配線用の穴を設けられない場合は必ず専用のライナー付きシリンダーに交換ください。



配線後▶4ページの「2.リーダーユニットの位置を合わせる」へ



配線後▶5ページの「4.サムターンユニット取付板の取り付け」へ

#### 2. リーダーユニットの位置を合わせる

##### ▼ 両面テープ取付型のみ

リーダーユニットを貼り付ける

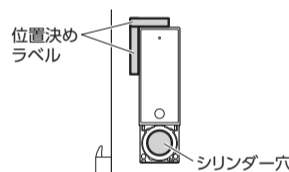
- 貼り付けを行う前に、必ず扉のリーダーユニット取り付け部の汚れを脱脂剤等できれいに拭き取ってください。

△ 低温環境下でも良好な作業性を有していますが、好ましくは15℃以上の環境温度での貼り付けを推奨します。貼り付け面(ドア側)とテープ側を暖房器具などで暖めてください。

△ ドアに対して垂直方向に約2分以上強く押し当ててください。

△ 両面テープの接着力は約24時間で高まります。それまでリーダーユニットに強い力を加えないでください。

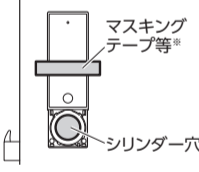
※ 推奨養生期間は常温で72時間以上です。



##### ▼ 挟み込み取付型(LXタイプのみ)

リーダーユニットを仮固定する

- リーダーユニットをマスキングテープ等で仮固定してください。
- ※ マスキングテープ等は別途ご用意ください。

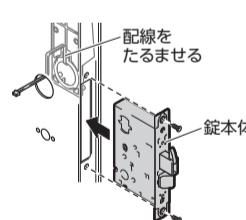


##### ▼ 配線用の穴を設けられない場合のみ

錠本体を取り付ける

- リーダーユニットの配線が錠本体の上を通るようにたるませてください。
- 錠本体の上を配線が通るように慎重に錠本体を取り付けます。
- 錠本体を取り付けたら、扉ごとに合わせてレバーハンドルを取り付けてください。
- 挟み込み取付型の場合のネジ締めは仮締めしてください。

△ 錠本体で配線を挟み込まないように十分注意してください。



#### 3. シリンダーを取り付ける

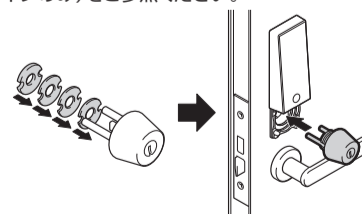
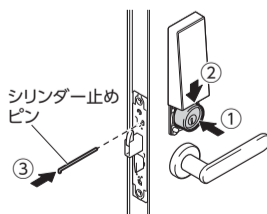
##### ▼ 両面テープ取付型

〈LXタイプの場合〉

- 穴に合わせてからシリンダーを下に約2mmずらして奥まで差し込みます。(①②)
- シリンダー側のシリンダー止めピンを差し込みます。(③)

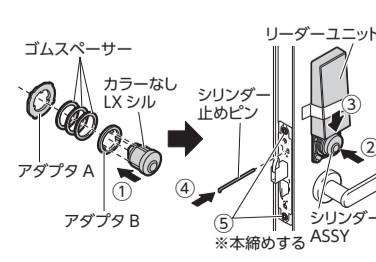
〈TXタイプの場合〉

- 取り外したシリンダーにシルスペーサーを取り付けます。
- 引当表\*を参考に扉厚に合わせて使用するシルスペーサーの枚数を調整してください。
- ※ 引当表は、別紙の「**3.取り付けに必要な資料**」シルスペーサー引当表(TXタイプのみ)をご参照ください。



##### ▼ 挟み込み取付型(LXタイプのみ)

- 取り外したシリンダーからカラーを取り外します。
- カラーなしのシリンダーにアダプタB、ゴムスペーサー、アダプタAの順に取り付け、シリンダーASSYを組み立てます。(①)
- 引当表\*を参考に扉厚に合わせて使用するゴムスペーサーの枚数を調整してください。
- ※ 引当表は、別紙の「**3.取り付けに必要な資料**」挟み込み取付型引当表(LXタイプのみ)をご参照ください。
- シリンダーASSYをリーダーユニットに組み付けます。
- リーダーユニットに組み付けたシリンダーASSYを穴に合わせてから下に約2mmずらして奥まで差し込みます。(②③)
- シリンダー側のシリンダー止めピンを差し込み、錠本体を本締めしてください。(④⑤)



## 4 サムターンユニット取付板の取り付け

取付板は錠本体 (LX, TX) により異なります。錠本体に合わせた取付板を選択してください。

- シリンダーの穴を通したリーダーユニットの配線を挟み込まないように注意して取り付けてください。

### ▼ LX タイプ

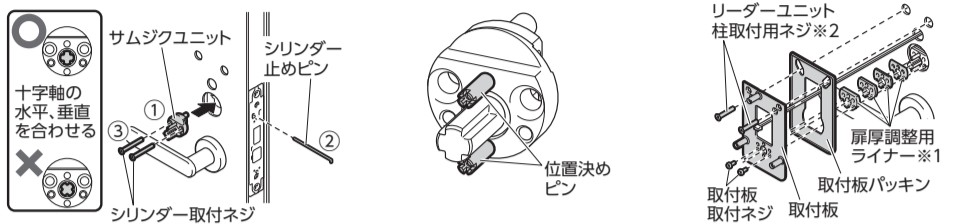
#### 1. シリンダーにサムジクユニットを取り付ける

- サムジクユニットにサムターン側のシリンダー止めピンを差し込みます。
- M5 × 40 のネジ 2 本を使用し、サムジクユニットをシリンダーに固定します。

#### 2. サムターンユニット取付板を固定する

- サムジクユニットの位置決めピンを合わせて取り付けます。
- 引当表\*を参考に扉厚に合わせて使用する扉厚調整用ライナーの枚数を調整してください。
- 引当表\*を参考に取付板取付ネジ(C)を選択し、取付板をサムジクユニットに固定します。
- 引当表\*を参考にリーダーユニット柱取付用ネジ(D)を選択し、リーダーユニットを取付板に固定します。(柱取付型のみ)

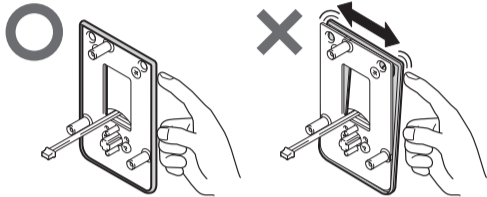
\* 引当表は、別紙の「**取付けに必要な資料**」扉厚調整用ライナー 引当表、または挟み込み取付型 引当表 (LX タイプのみ) をご参照ください。



※1 挟み込み取付型は不要  
※2 柱取付型のみ使用

#### 3. 取付板および取付板パッキンが扉に密着して固定されていることを確認する

- 取付板の取り付け後、指で取付板パッキンを押すなどして、取付板パッキンがずれたり、動いたりしないことを確認してください。

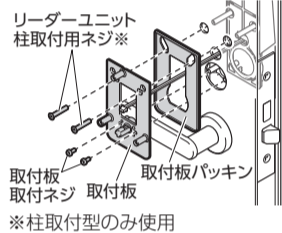


△ 取付板パッキンがずれたり、動いたりする場合は、取付板と扉の間に隙間があります。扉厚調整用ライナーの枚数を減らす (厚みを減らす) などして、取付板パッキンが密着して固定されるように取付板を取り付けてください。また、2 ロックセット (オプション) の下側サムターンユニットについても、同様に取付板を取り付けてください。  
※ 2 ロックセット (オプション) の取り付けは別紙の「**取付けに必要な資料**」をご参照ください。

### ▼ TX タイプ

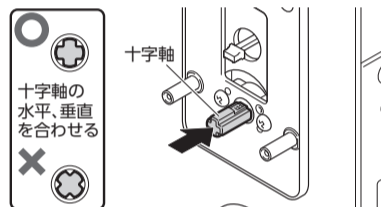
#### 1. サムターンユニット取付板を固定する

- 取付板をM4×12のネジ 2本 (カラーシールなし) でシリンダーに固定します。
- 引当表\*を参考にリーダーユニット柱取付用ネジ (D) を選択し、リーダーユニットを取付板に固定します。(柱取付型のみ)



#### 2. 扉厚に合わせて十字軸を調整する

- 十字軸を奥に当たるまで押し込んでください。



\* 引当表は、別紙の「**取付けに必要な資料**」扉厚調整用ライナー 引当表をご参照ください。

#### 3. 取付板および取付板パッキンが扉に密着して固定されていることを確認する

- LXタイプと同様に、取付板の取り付け後、指で取付板パッキンを押すなどして、取付板パッキンがずれたり、動いたりしないことを確認してください。

5

## 5 サムターンユニットの取り付け

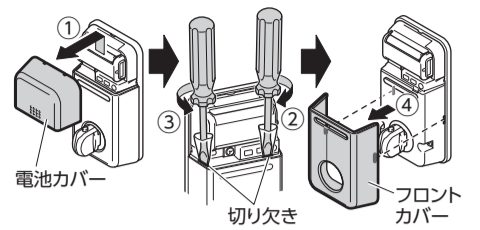
2 ロックセットについては取り付ける向きに合わせてください。

△ サムターンユニットを取り付ける前に、サムターンを何度も回さないでください。故障の原因になります。

#### 1. サムターンユニットのカバーを取り外す

- 電池カバーを浮かしてから、前方向に取り外します。
- フロントカバーの切り欠き 2 箇所に⊖ドライバーを順番に差し込んで動合を外し、前方向へ取り外します。

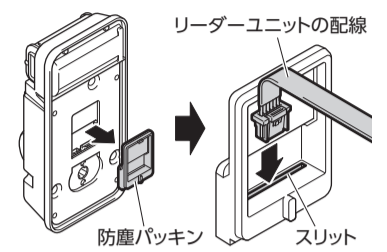
※ 傷付き防止のため先端に布などを巻いてください。



#### 2. リーダーユニットの配線を防塵パッキンのスリットに通す

- サムターンユニットの防塵パッキンを取り外します。
- リーダーユニットの配線を防塵パッキンのスリットに通します。

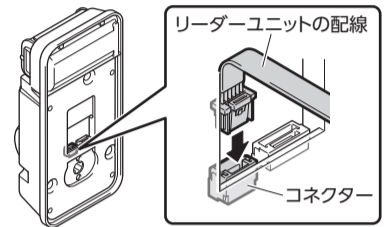
※ 向きに注意してください。



#### 3. リーダーユニットの配線を接続する

- サムターンユニット左側 (背面視) のコネクターに接続してください。

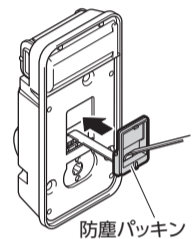
△ 余った配線が可動部や取り付け部に干渉しないよう注意して収納してください。



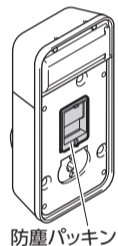
#### 4. 防塵パッキンを取り付ける

- サムターンユニットに防塵パッキンを取り付けます。

△ 防塵パッキンが確実に取り付けられていることを確認してください。



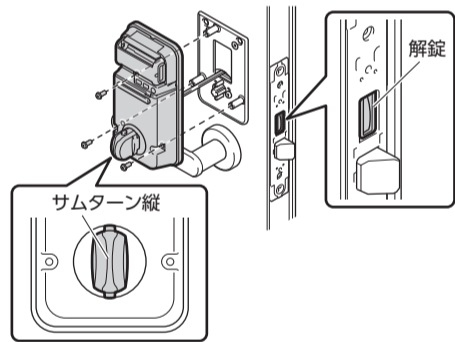
△ 2 ロックセット (オプション) の場合、下側サムターンユニットにも防塵パッキンが取り付けられていることを必ず確認してください。



6

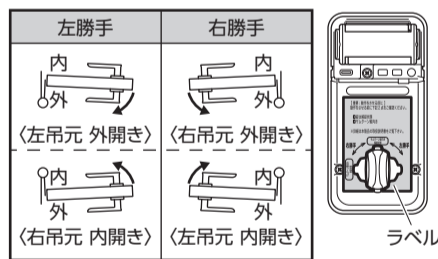
#### 5. サムターンユニットを固定する

- 取り付ける前にサムターンの向きが縦で扉が解錠状態になっていることを確認してください。
- サムターンユニット本体固定用 M3.5 × 10 ネジ 3 本で取付板に固定します。



#### 6. 右勝手、左勝手を設定する

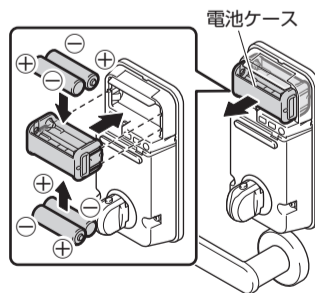
- 右図を参考に右勝手、または左勝手を確認してください。
- 扉を一度開けてからラベルに従い、右勝手、左勝手方向にサムターンを回します。
- 右勝手、左勝手の初回設定時は、サムターンを回すときに重いことがあります。
- 右勝手、左勝手の設定が終了したら、ラベルを剥がしてください。



#### 7. 電池を取り付ける

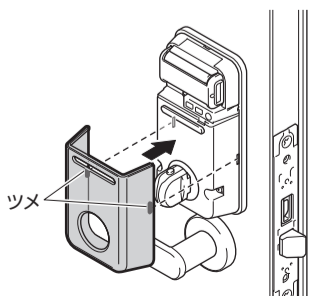
- 電池ケースを取り外し、極性マークに合わせて⊖側から取り付けてください。
- 設置する地域が寒冷地の場合は、単三リチウム乾電池 (別売) を必ずご使用ください。

△ 新旧、および異なる種類 (アルカリ、マンガンなど) の電池を使用しないでください。故障の原因となります。



#### 8. フロントカバーを取り付ける

- ツメの位置を合わせてフロントカバーを取り付けます。
- 確実に取り付けられたことを確認してください。



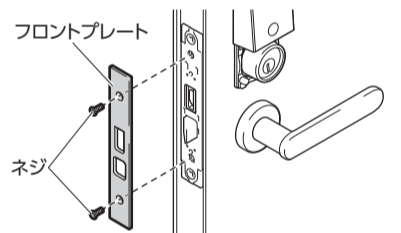
7

## 6 各種カバーの取り付けと作動確認

取り付けが完了したら、各種カバーの取り付けと初期設定、および作動確認を行ってください。

#### 1. フロントプレートを取り付ける (LX タイプのみ)

- 取り外したネジ 2 本で固定します。

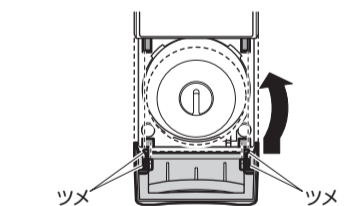
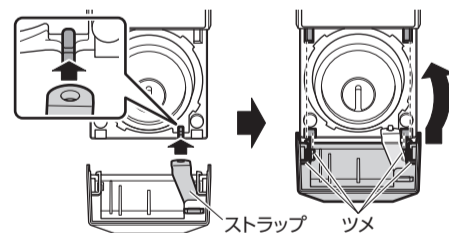


#### 2. リーダーユニットシリンダーカバーを取り付ける

- ▼ クローズ型\*  
※ TX タイプのシリンダーはクローズ型を取り付けることができません。

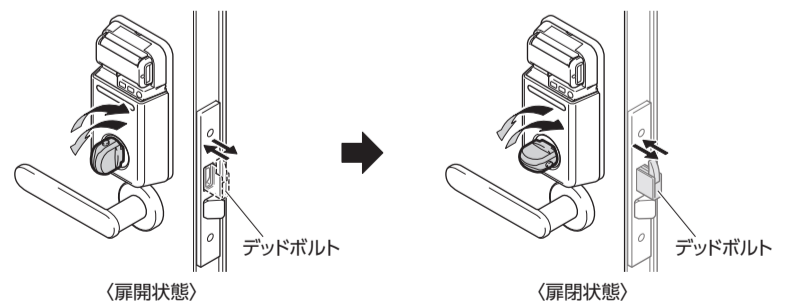
- カバーにあるストラップをリーダーユニットに取り付けます。
- ツメの位置を下側から合わせて取り付けてください。

- ▼ オープン型  
● ツメの位置を下側から合わせて取り付けてください。



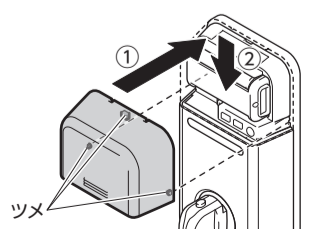
#### 3. 施錠動作の確認を行う

- サムターンを操作してスムーズに施錠操作できるかの確認を行います。
- 扉開状態、扉閉状態で施錠操作を行い、デッドボルトが引っかかることなく正常に動作することを確認してください。



#### 4. 電池カバーを取り付ける

- 下側のツメ 2 箇所を合わせて取り付け (①)、(②) の方向にスライドさせてツメ 3 箇所を動合させます。
- すべての部品が確実に取り付けられていることを確認してください。



GOAL®

8